

## 議事録

会議名	金属・セラミックス技術委員会 (H17年度第3回)	主催者 電気学会
日時	平成17年12月14日(水)	場所 古河電工 本社(東京)
出席者	田中(ISTEC)、樽谷(SRL)、石渡(東芝)、飯田(日立)	

### 【議事】

#### 1. 配布資料

- (0) 前回(#2)議事録
- (1) 上部研究調査運営委員会議事録
- (2) 編修長導入について
- (3) 平成17年度研究会、技術委員会開催計画と実績、論文賞割付け
- (4) 平成18年電気学会全国大会シンポジウム割付表
- (5) 平成18年度A部門誌編修計画案

#### 2. 審議内容:

##### (1) 前回(#2)議事録確認

資料(0)に基づき、前回議事録の説明がなされ、承認された。

##### (2) 上部研究調査運営委員会議報告

資料(1)に基づき、平成17年11月9日開催第66回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録の中から、当技術委員会に関連が深い 編修長制導入について(資料2)、研究会、技術委員会活動フォロー(資料3-1、3-2、3-3)、技術委員会ホームページ更新、全国大会A部門シンポジウム時間割付(資料4)について説明がなされ、次の議論がなされた。

##### H18年度研究会について

・春のシンポジウムにおける参加者を層別し、研究会テーマの絞り込み(電池関連?)、調査専門委員会への発展の可能性などを判断する。

・H18年度研究会開催目途を9月とする。(企画:4-5月、HP掲載広報:6-8月、実施:9月)

##### H18年度技術委員会について

・6月、9月、12月、3月の年4回開催とする。

・日程調整は少なくとも1ヶ月前とする。

##### 見学会について

・9月開催の研究会と合わせると効果的である。

・燃料電池関連で会場(見学会+研究会)打診する。打診分担は、東電(技術開発研究所など)関連(田中)、東芝関連(石渡)、三菱重工/愛知万博関連(NEDO)とする。

これらをまとめて、2/2 までに上部（研究調査運営委員会）に報告する。

（3）編修長制導入とアソシエイトエディター選出について

- ・当委員会としての対応は、次回技術委員会以降とする

（4）平成 18 年度 A 部門誌編修委員会 10 月号分担誌面構想審議

資料 5-1、5-2 によって説明がなされ、つぎの議論があった。

- ・解説テーマ：最新のエネルギー貯蔵技術、執筆者：電中研、AIST に打診
- ・学会情報：イタリア、セラミックス関連学会情報、樽谷委員執筆
- ・研究グループ紹介：中部電力(株)、電力技術研究所
- ・海外駐在記事：CERN(LHC 関連)出張者報告、KEK 土屋先生にご相談

（5）金属・セラミックス技術委員会及び研究会の活性化討議

当技術委員会の活性化に関して、つぎの討議がなされた。

- ・あまり理想的な行動計画よりも足下の行動計画の見直しが重要との認識がなされた。
- ・技術委員会日程調整は少なくとも 1 ヶ月以上前に行う。
- ・技術委員会の開催場所は東京駅近辺でよい。
- ・3 月は研究会企画、6 月はシンポジウム企画とするなどを各回の技術会議の議題を重点的に扱うことで、メリハリがつく。
- ・技術委員会に講師を 1-2 回/年(@¥5 千円-1 万円/回程度招いて、先進情報の入手、学会への入会勧誘などに資する。
- ・当技術委員会の業務分掌を洗い出し、1 件/約 2 人で業務を分担する。次回委員会で素案を提示し、H18 年度から実施する。

以上